

病院見学報告書

日 時：2023年8月31日（木） 14時00分 ～ 15時30分

訪問者：7名（うち看護教員4名、研究員3名 OWL University, Finland） ※引率：看護学科
疋田先生、橋口先生

場 所：薬剤部・周産期母子センター(産科・NICU)・TEMDEC

看護学科の依頼で、協定校であるフィンランド・オウル大学から看護師7名が訪問。

薬剤部では抗がん薬調剤ロボット DARWIN Chemo の見学をした。入佐先生が24時間稼働可能、精度や安全性が高い理由を説明した。抗がん薬のミキシング、レーザーによる注射針の確認、点滴容器の洗浄などロボットの動きに驚いた。錠剤一包化装置の見学では患者オーダーごとの400種類の錠剤の選別、梱包後のカメラによる確認という説明を行った。

産科では梶原看護師長が新型コロナウイルス感染者用の陰圧分娩室や通常分娩室、分娩室から手術室への移動順路など案内した。NICUでは室内の様子に関心を持ち、浦部看護師長に今、何をしているのかとたくさんの質問が寄せられた。

TEMDECでは副センター長工藤先生から遠隔医療の飛躍について説明した。地域医療や高齢者医療に関心のある研究者から遠隔医療のこれからの発展を更に期待する声が多くあった。

【薬剤部】



【産科】



【周産期母子センター】



【TEMDEC】

